

新作 名刀 展

平成二十五年 現代の刀工と刀職

東京会場

- 会 期：平成25年5月14日(火)～6月16日(日)
- 開 館：午前10時～午後4時30分(月曜日休館)
- 入館料：一般600円/会員・学生・10名以上の団体300円/中学生以下無料
- 交 通：小田急線「参宮橋駅」下車徒歩10分

刀剣博物館

東京都渋谷区代々木4-25-10 TEL.03-3379-1386(代)

山形会場

- 会 期：平成25年6月29日(土)～7月18日(木)
- 開 館：午前9時～午後5時(期間中無休)
- 入館料：一般700円/学生380円/小・中学生280円
- 交 通：鶴岡駅からバスで致道博物館前下車徒歩1分

致道博物館

山形県鶴岡市家中新町10-18 TEL.0235-22-1199(代)

埼玉会場

- 会 期：平成25年9月21日～10月6日(日)
- 開 館：午前9時～午後5時(月曜日休館)
- 入館料：一般200円(160円)/大学生・高校生100円(80円)/小・中学生無料
※()内は20以上の団体料金
- 交 通：本川越駅または川越駅から東武バス「札ノ辻」バス停下車徒歩8分

川越市立博物館

埼玉県川越市郭町2-30-1 TEL.049-222-5399(代)

主催 公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

平成二十五年 「新作名刀展―現代の刀工と刀職」開催に当たり

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

昨年の公益財団法人認定により、きわめて社会的意義の高い責務をもった本協会が行う事業の中で、新作名刀展はその歴史も、斯界に果たすその役割も、これまで以上に重く、かつ深くなって参りました。

また、昨年から巡回展に埼玉の川越市立博物館が加わり、当刀剣博物館と山形の致道博物館との三館での展示となり、ますます充実性を増す展覧会となって参りました。現代に刀剣を鍛え作品を残す作家達は、後世への遺産となるかけがえない技術の継承者として日々精進しています。

本展覧会は、その作家達が二十一世紀の芸術家の一員として如何に優れ、作刀に邁進していたかの証として、後世評価される事業となるでしょう。公益財団法人である本協会は、この活動をこれまで以上に充実させ、またさらなる発展を目指す所存です。

本協会は、日本刀という世界に稀有な鉄の文化財を守り、その製作技術を保存・伝承するための重要事業として我が国固有の製鉄法である「たたら吹き」を行っております。それは同時に日本文化の一端を守るという社会的負託を課され、その実践を任されていることと同義であります。「新作名刀展」出品作は、この「たたら吹き」で生産された玉鋼をその原料として製作されたものであり、「たたら吹き」が作刀技術の支えとして、その意義を遺憾なく発揮しているといえましょう。

この展覧会が前身の作刀技術発表会より新作名刀展へと衣替えしてから、来年はいよいよ五十回を迎えます。半世紀を経過し、作刀技術の向上と作刀人口の増加を見ることができ、斯界は新たな時代へと歩みを進めて参ります。

日本の伝統技術の粹である日本刀の傑出した「くろがねの美」を心ゆくまでご堪能ください。

そして今後の「新作名刀展」の一層の発展に向けて、ますますのご愛顧とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、「新作名刀展」開催に当たり、ご協力くださいました関係各位に衷心より厚く御礼申し上げます。

平成二十五年五月吉日

新作名刀展

東京 会場 刀剣博物館
会期 平成25年5月14日(火)～6月16日(日)



山形 会場 致道博物館
会期 平成25年6月29日(土)～7月18日(木)



埼玉 会場 川越市立博物館
会期 平成25年9月21日(土)～10月6日(日)

